



## 「5」「V」「五」「伍」

南帷子小学校長 堀田 誠

令和5年度が始まりました。今年の桜は、例年より早い時期に咲きはじめました。残念ながら、「入学式の日、満開の桜の下で、真新しいランドセルを背負ったピカピカの一年生の姿をカメラに収める」ということはできなさそうです。右の写真は3月末に撮影したものです。44回目の桜が今年も咲きました。



44年目の桜

さて、令和5年度の「5」は、ローマ数字で「V」と表します。漢字では「五」と一年生の時に習いましたが、金銭証書などに「五」の代わりに、「伍」を用いることがあります。「伍」とは、古く中国で、五戸を一組とした行政上の単位（精選版 日本国語大辞典より）で使われており、また、仲間、同類などのまとまりの数を表わす単位（デジタル大辞泉より）だそうです。

3年間にわたり、新型コロナウイルス感染症によって学校の在り方も大きく変わりました。ソーシャルディスタンスという言葉が流行語となったように、学校でも机の配置が1~1.5m離れていました。感染症対策として三密はタブーとされていきました。また、どこに行くにもマスク着用が義務化され、人と人の間に常に距離が保たれ、また、壁があったように思います。大切な命に関わることなので、誰もがこれらのことを受け止めて月日を過ごしてきました。この4月からは、マスク着用の義務化はなくなります。また、ゴールデンウィーク明けには、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の分類で、2類から5類となります。インフルエンザと同じ扱いになるので、「濃厚接触者だから学校に行けない」ということは無くなります。学校では、合唱、調理実習、プールといった学習ができるようになります。この3年間ではできなかった「仲間との関わり」がより多くなります。偶然なのか、「5」という数字が意味する「仲間」が、今年度は多くみられるように感じます。一方で、マスクで生活した3年間の影響は、至る所で問題化されるでしょう。

44回目に咲いた桜が、どんな状況でも咲き続けたように、今年度も47名の教職員が、291人の「子どもの幸せ」「子どもの笑顔」を願って努力邁進することは変わりなく頑張っていきたいです。本来の学校の原風景が戻ってくる令和5年度に、久しぶりに「校舎に歌声が響く」ことを楽しみにしています。

### 【保護者の皆様へ】

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の分類で5類となりますが、子どもたちの命を守ることは、常に第一優先にしながら、子どもたちのためにできる教育活動を精一杯行っていきたいと考えています。保護者の皆様には、いろいろな面において、ご理解ご協力いただくこととなりますが、よろしくお願いいたします。